

島根県

シニア災害ボランティア セミナー開催報告

平成29年1月14日（土）、浜田市総合福祉センターにて島根県と当協会主催による「シニア災害ボランティアセミナー」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、青山島根県防災部防災危機管理課長と当協会の廣澤事務局長が挨拶し、続いて兵庫県立大学防災教育研究センター長の室崎益輝氏による講演と東北福祉大学教授の小松洋吉氏による講演が行われました。



講演1

13:45～14:45

超高齢化社会と災害ボランティア
～阪神・淡路大震災以降の災害に学ぶ～

神戸大学名誉教授・

兵庫県立大学防災教育研究センター長

室崎 益輝氏

講演1では、現在の災害リスクの動向や高齢化社会等現在日本が抱える課題を背景に防災や減災、ボランティア活動におけるシニア層の役割と意義について講演いただきました。



室崎 益輝氏

兵庫県尼崎市出身。京都大学工学部卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所所長を経て、2013年より現職。防災功労者内閣総理大臣表彰、日本火災学会賞などを受賞。

講演2

14:55～15:55

シニア世代のボランティア活動
～これまでの自然災害ボランティア活動を踏まえて～

東北福祉大学・大学院教授 小松 洋吉氏

講演2では、地域における『絆』や平時からの減災の取組の大切さ、また実際に取組まれている事例を紹介しながらボランティアの精神や原点についてお話しいただきました。

今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。



小松 洋吉氏

秋田県出身。東京大学文部教官（助手）を経て、現在は東北福祉大学・大学院教授、東北学院大学非常勤講師を務める。平成19年度「防災功労者内閣総理大臣表彰」、平成21年度「ボランティア功労者厚生労働大臣賞」を受賞。